

令和5年度 第1回 就労支援事業所研修会 事業報告

令和5年6月9日（金） 14:00～16:30

福岡市立心身障がい福祉センター（あいあいセンター）大研修室

就労支援事業所の支援員等45名の方にご参加いただきました。沢山のご参加ありがとうございました。



■ 講演① 『発達障がい者への支援のヒントと就労支援の工夫』

臨床心理士 中島 美鈴氏

（中島心理相談所/九州大学人間環境学研究院/肥前精神医療センター）

「段取りよく取り組むことが苦手」、「集中力が続かない」、「部屋が散らかってしまう」等、ADHDをはじめとする発達障がいの方が日頃から抱えている『困りごと』に対して、理論に基づいて分析・理解することが大切であること、特性やタイプに応じた対策をしていく支援方法についてお話いただきました。

相談者は上手くいかないことを欠点と捉え思い悩み、そして支援者もその課題に向き合いながら改善していくことに力を注ぎがちです。ただ、課題とされることには必ず脳機能の障がいによる理由があることを念頭に関わることが重要で、相談者がどこで躓いているかを一緒に整理し、現状を理解していくための技法を、実践例を交えながら分かりやすく説明いただきました。

また、就労支援においては、「適職探しこそ最強の環境調整」とのお言葉がとても印象的でした。適職を知るためにも、相談者のことを知ること、知るための向き合い方のヒントが沢山詰まった講演でした。参加者からの多くの質問にも、一つ一つ具体的に回答いただき、「自己理解を助ける実行機能モデル、サポートアイテムの使い方など現在の支援に加えてよりよい支援に繋がります」、「具体的なスケジュール管理の仕方、整理整頓の仕方等写真やイラストを見ながらとても参考になりました」等の感想がありました。

■ 講演② 『企業での支援に必要な視点、支援員の役割について』

福岡市立障がい者就労支援センター 就労支援コーディネーター 篠原 玲子

就労支援のプロセスの概要をはじめ、職場における支援時の失敗談や、企業が支援員に求めることについて事例を踏まえながらお伝えしました。就労支援においては、障がいのある方だけに支援するのではなく、本人と企業双方への支援者であること、支援者の言動や立ち振舞いを見られていることを前提に、企業の方からも信頼される支援者として企業視点も不可欠であることをお伝えしました。

次回、9月6日（水）に企業との交流会を企画しております。改めてご案内いたしますので是非、ご参加ください！！

